

メインフレームやCOBOLを使用した基幹システムなどのレガシーシステムを新たなオープンシステムに移行します。

「システムが複雑化・老朽化・ブラックボックス化している…」
「刷新したいが品質確保やリスクが心配…」にお応えします。

レガシーシステムのマイグレーションをご検討中の方に、マイグレーションを成功させるポイントをご紹介します。

期間

作業期間は
どのくらい？

人材

現行システムに
精通した社員が
不足…

機能面

複雑・特殊な
処理はオープン化
後も使える？

性能面

オープン化により
処理性能が低下
することはない？

レガシーシステムのマイグレーションを成功させるポイント

① マイグレーションの理解

システム開発とマイグレーションの違いの理解が大切です。

② 工程ごとのチェックポイントの明確化

工程ごとにチェックが必要なポイントを明確にして、マイグレーションの進め方を具体的にイメージすることが大切です。

③ 確立された作業手順の適用

確立された作業手順を適用することで、安定したマイグレーション品質を実現できます。

確立された作業手順がレガシーマイグレーションを成功に導く

本サービスは、当社がこれまで培った実績をもとに「手順とツール」として開発したものです。これにより、安定した品質でのマイグレーションを実現します。お客さまにて実施するテスト以降の工程については、問い合わせ対応などでご支援します。

マイグレーションのプロセス



要件定義

活用資産を明確化します

- ・活用対象システムの資産整理
- ・移行方式概略設計
- ・サンプルコンバージョン実施

AP方式設計

適切な方式を設計します

- ・プログラム移行方式設計
- ・運用系移行方式設計
- ・帳票・画面定義移行方式設計

コンバージョン開発

高品質の移行を実現します

- ・コンバーター改修
- ・各種コンバージョン（プログラム、運用系、帳票・画面定義）
- ・コンバージョン単体テスト

テスト後方支援

問題を早期に解決します

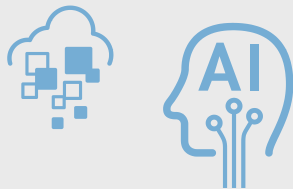
各種テストの支援
（組み合わせテスト、連動テスト、総合テスト、運用テスト）

■レガシーシステム・オープン化移行支援サービス適用の効果

レガシー刷新でDX推進を

DX
推進

DX推進においてレガシーシステムの刷新が急務です。オープン化により、レガシーシステムが抱えるコスト、セキュリティリスク、人材不足の課題に対応できるようになります。



独自のコンバージョンツール

コスト

- 独自のコンバージョンツールにより改修を自動化し、開発を大幅に省力化します。
- 機械変換率90%以上。コンバージョンツールのカスタマイズにより、95%以上に高めることも可能です。



■さまざまなオープン化移行パターンに対応

オープン化移行パターンの一例です。下記以外のパターンについても提供可能です。まずはお問い合わせください。

●大型メインフレーム（汎用機）の移行パターン

	メインフレーム	オープンシステム
OS	VOS3、zOS	Windows、Linux
言語	COBOL85、PL/1	COBOL2002、Java
画面	XMAP2、DDS	XMAP3、Java + JSP
帳票	XMAP2、FOG2	XMAP3、EUR、SVF
オンライン	XDM/DCCM3	Open TP1、uCosminexus
DB制御	DB、XDM/RD、XDM/SD、PDM2、ADABAS、IMS	ORACLE、HiRDB、SQL Server
バッチジョブ	JCL	BJEX、Shell
帳票印刷	XMAP2、FOG2、DDS	XMAP3、EUR、SVF、PDE

●中小型メインフレーム（汎用機）の移行パターン

	メインフレーム	オープンシステム
OS	VOS1/K、OS/400(AS400)	Windows
言語	COBOL85、アセンブラ、RPG、NHELP	COBOL2002、Java
画面	DDS	XMAP3
帳票	XMAP、DDS	XMAP3、DDS
オンライン	CUTE	OpenCUTE
対話処理	XMAP、パネル、コマプロ	XMAP3/Server
DB制御	RDB、RDB1、DB2	ORACLE、HiRDB
バッチジョブ	コマプロ、CL	BJEX

■サービス適用実績

当社のマイグレーション実績は200件以上。幅広い業種・業界でマイグレーションの実績があります（2021年3月時点）。



当社のマイグレーションの実績は200件以上（総計 約140Ms）

商標に関する表示

- 記載されている製品名、商標名、社名は、各社の商標、登録商標です。
- ※ 本カタログの内容は、2022年9月現在のものです。
- ※ 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- ※ 本製品を輸出される場合には、「外国為替及び外国貿易法」の規制ならびに米国輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、担当営業にお問い合わせください。

 株式会社 日立社会情報サービス

<https://www.hitachi-sis.co.jp/>

ソリューション・製品に関するお問い合わせ

ソリューション・製品サイト

<https://www.hitachi-sis.co.jp/service/system/migration/>

HSIS-171

2022.9

© Hitachi Social Information Services, Ltd. 2022.